

各位

2018年9月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成30年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比109.2%と前年を上回ったが、学生団体は同49.3%と前年を下回り、団体旅行合計で同87.2%と前年を下回った。企画旅行については前年比102.9%と前年を上回り、個人旅行については同131.7%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比106.1%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比91.4%と前年を下回り、学生団体は同78.4%と前年を下回り、団体旅行合計で同85.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比90.9%と前年を下回り、個人旅行については同95.6%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比90.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比111.5%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前年比96.7%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、一般企業の周年事業などの取扱が増加したほか、大型の国際スポーツイベントなどの取扱により、前年比109.2%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行については取扱人数や取扱単価が増加やするなど好調に推移したが、前年の大型海外留学派遣事業の取扱が大きな反動減になり、同49.3%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比87.2%と前年を下回った。海外企画旅行については、前年比102.9%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、ハワイやアメリカ、アジア方面は好調に推移したが、ヨーロッパ方面一部商品のクラブツーリズム商品への一体化による減少に加え、ミクロネシアやオセアニア方面などが低調であった。クラブツーリズムはヨーロッパ、アメリカ、オセアニア、東南アジア、中央アジア、南米方面が好調に推移した。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比106.1%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、海外エージェントからの受注や個人旅行の宿泊商品ならびにレイルパスなどの取扱が好調に推移し、前年比111.5%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、前年に取扱った大型の職場旅行や企業系コンベンションの影響により、前年比91.4%と前年を下回った。学生団体は、林間学校などの修学旅行外の学校行事について取扱人数が増加し好調に推移したが、修学旅行については前年との実施時期の相違により単月比較では取扱人数が減少したため、同78.4%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比85.6%と前年を下回った。国内企画旅行については、前年比90.9%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、首都圏方面は好調に推移したが、西日本豪雨の影響を受けた中国、四国方面を中心に他の方面が低調であった。クラブツーリズムは、国内旅行部門、バス旅行部門ともに販売の低迷に加え6月発生の大阪北部地震並びに7月の西日本豪雨による取消し、販売減の影響が大きく、取扱高が減少した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比90.6%と前年を下回った。

以上